







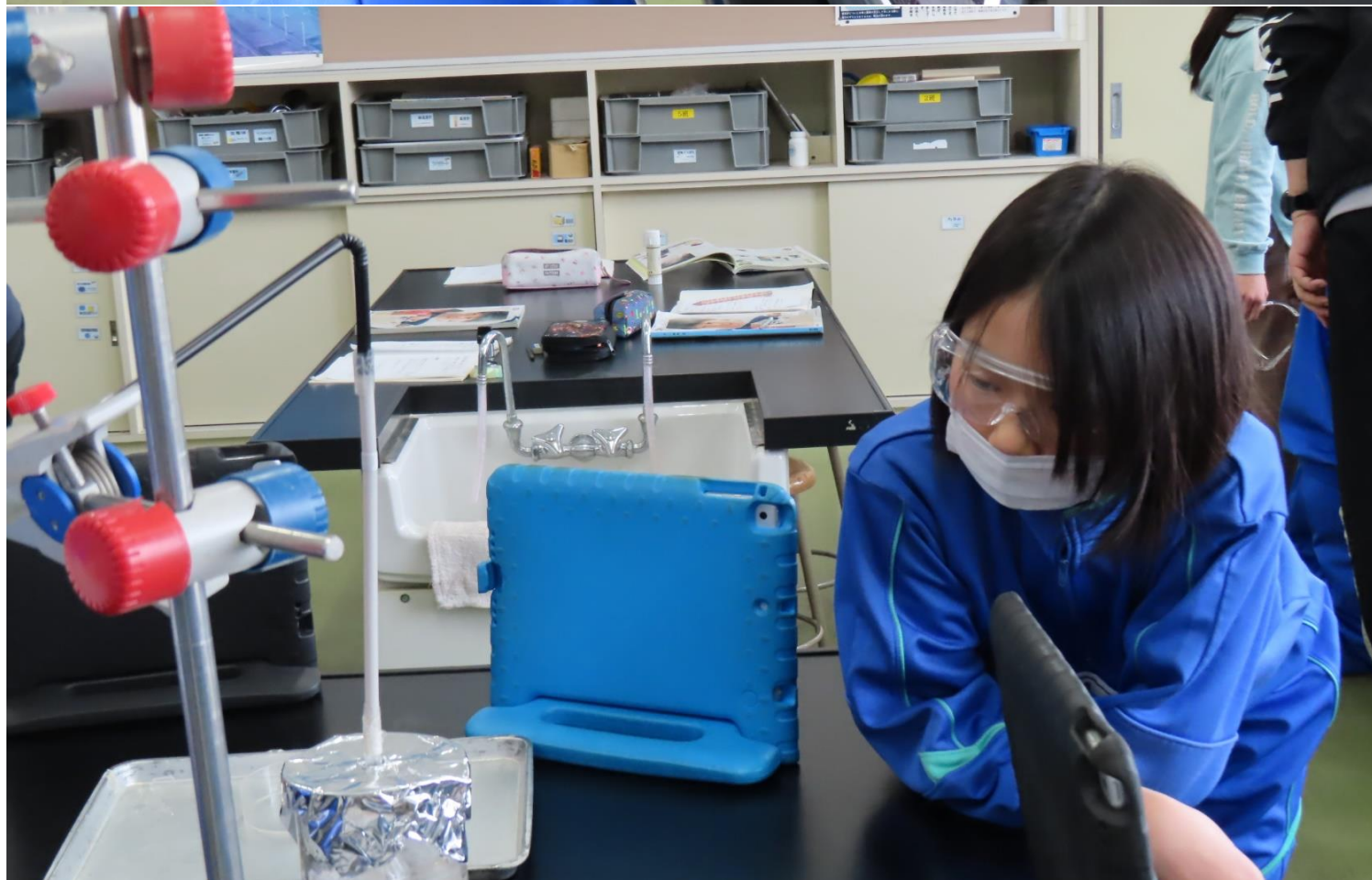




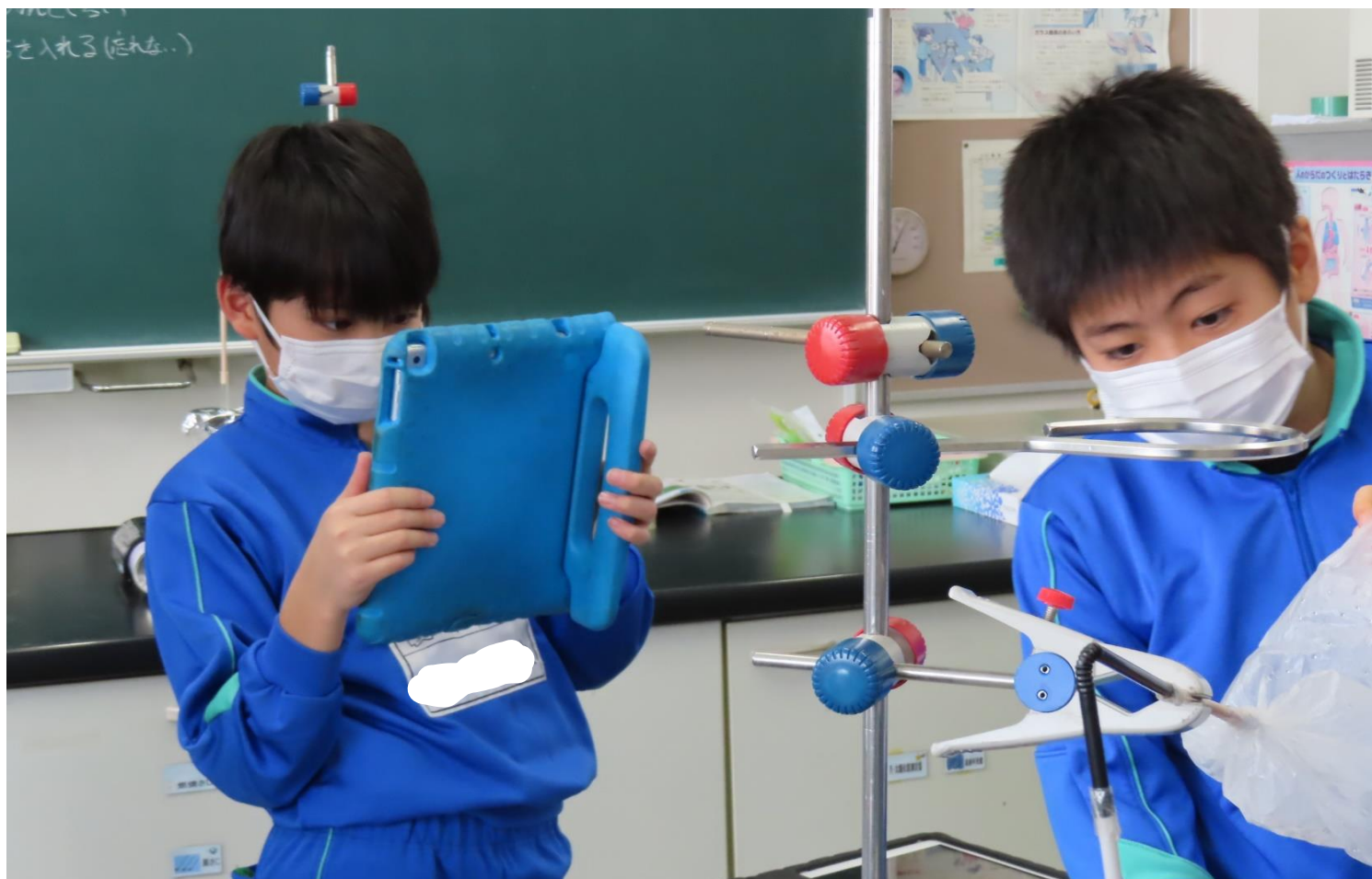




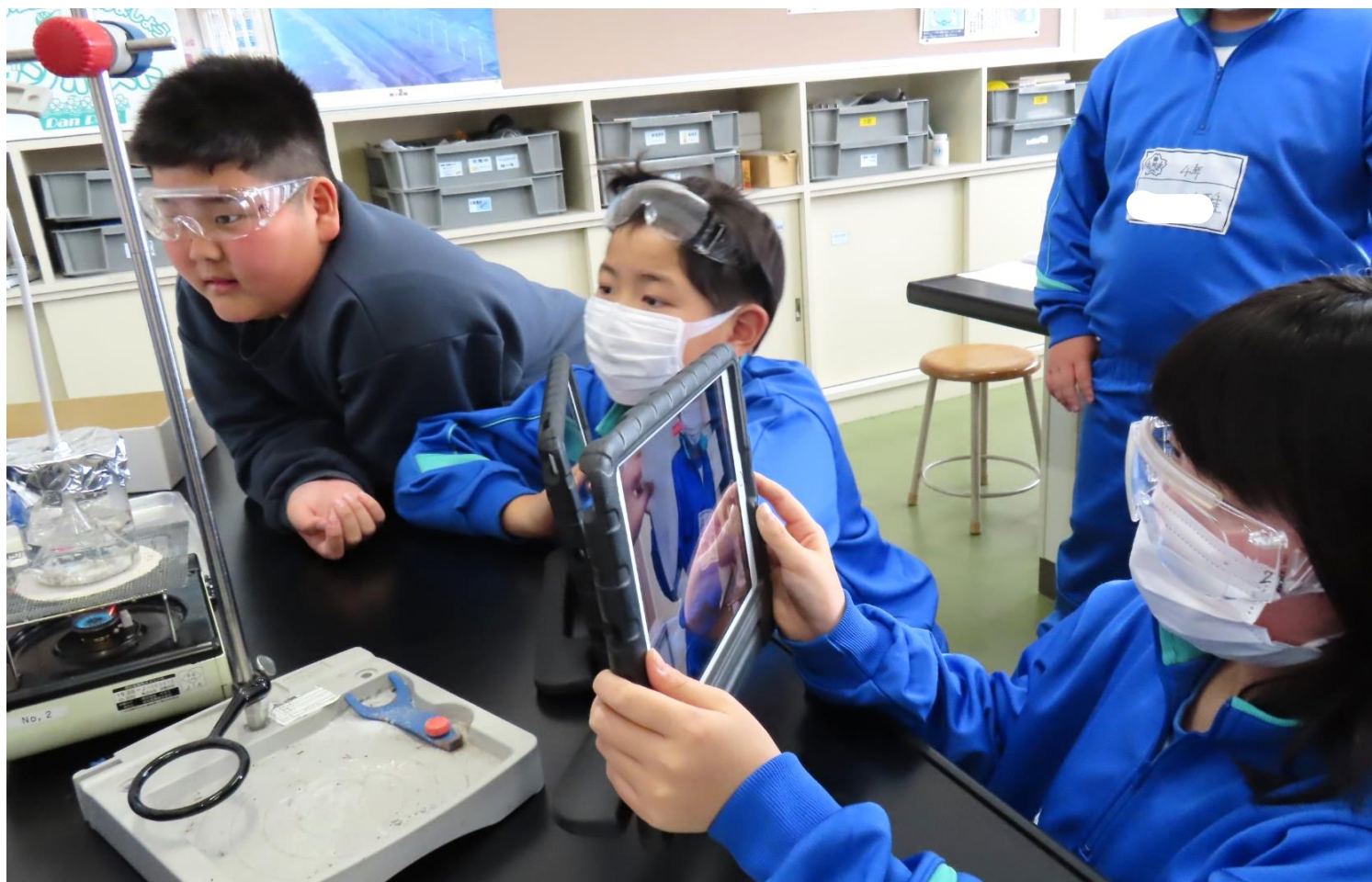




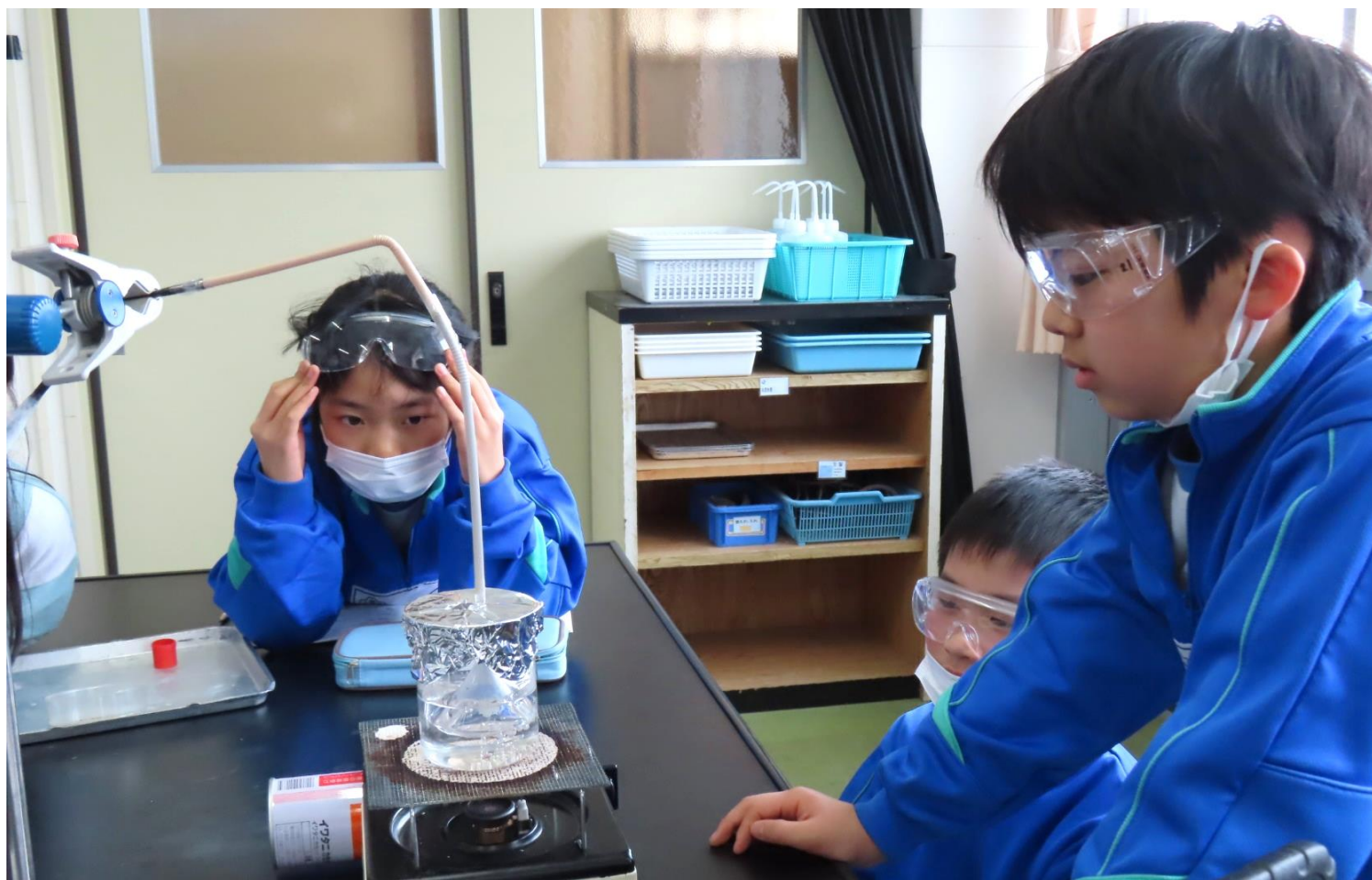




















みんなの意見を聞いて、水がしぜんにじょう発して空気に出ていったのと同じように、湯気やあわになって、空気に出ていったのだと思いました。

運ろう

までに学んだことやけんしたことをもとに、理由をつけてすることができたでしょうか。

なぜかをよう。

- 湯気が水だったら、スプーンの表面はどうなるだろうか。
- あわが水だったら、ふくろはどうなるだろうか。

1 あわの正体を調べる

下の写真のような実験そう置を組み立てる。

- ポリエチレンのふくろは、しばませておく。

2 水を熱して、出てきたあわをポリエチレンのふくろに集める。

- ふくろの中のようにとピーカーの水の量を調べて、記録する。

きけん ▶ あなの近くは、とても熱いので、ぜったいに手や顔を近づけてはいけない。スプーンも、湯気に近づけた部分が熱くなるので、やけどをしないように、気をつける。

▶ 熱い湯がふき出すのをふせくため、水にふっとう石を2〜3こ入れる。

イ あわの正体を調べる

● ポリエチレンのふくろを、ほのおに近づけないように気をつける。

● ろうとのつけ根は折れやすいので、ていねいにあつかう。

スタンド
つなが部分は、セロハンテープでしっかりとめる。
曲がるストロー
ポリエチレンのふくろ
ろうと
熱する前に、水面の位置に印をつける。

用意する物

☐ ピーカー	☐ ふっとう石	☐ 金ぞくのスプーン	☐ アルミニウムはく	☐ 曲がるストロー	☐ ろうと
☐ ポリエチレンのふくろ	☐ セロハンテープ	☐ 加熱器具	☐ スタンド	☐ 金あみ	☐ ほごめがね